



第 3 回 上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

個別施設の機能検討（動線計画・施設計画）

平成 21 年 9 月 4 日

上 越 市

北陸新幹線（仮称）上越駅の整備に関する要望書 （平成 16 年 4 月）

検討の出発点

時間的経過
合併などの
状況変化
検討の深化

まちなみ検討会議
の視点

使いやすい空間

両立
上越らしい空間

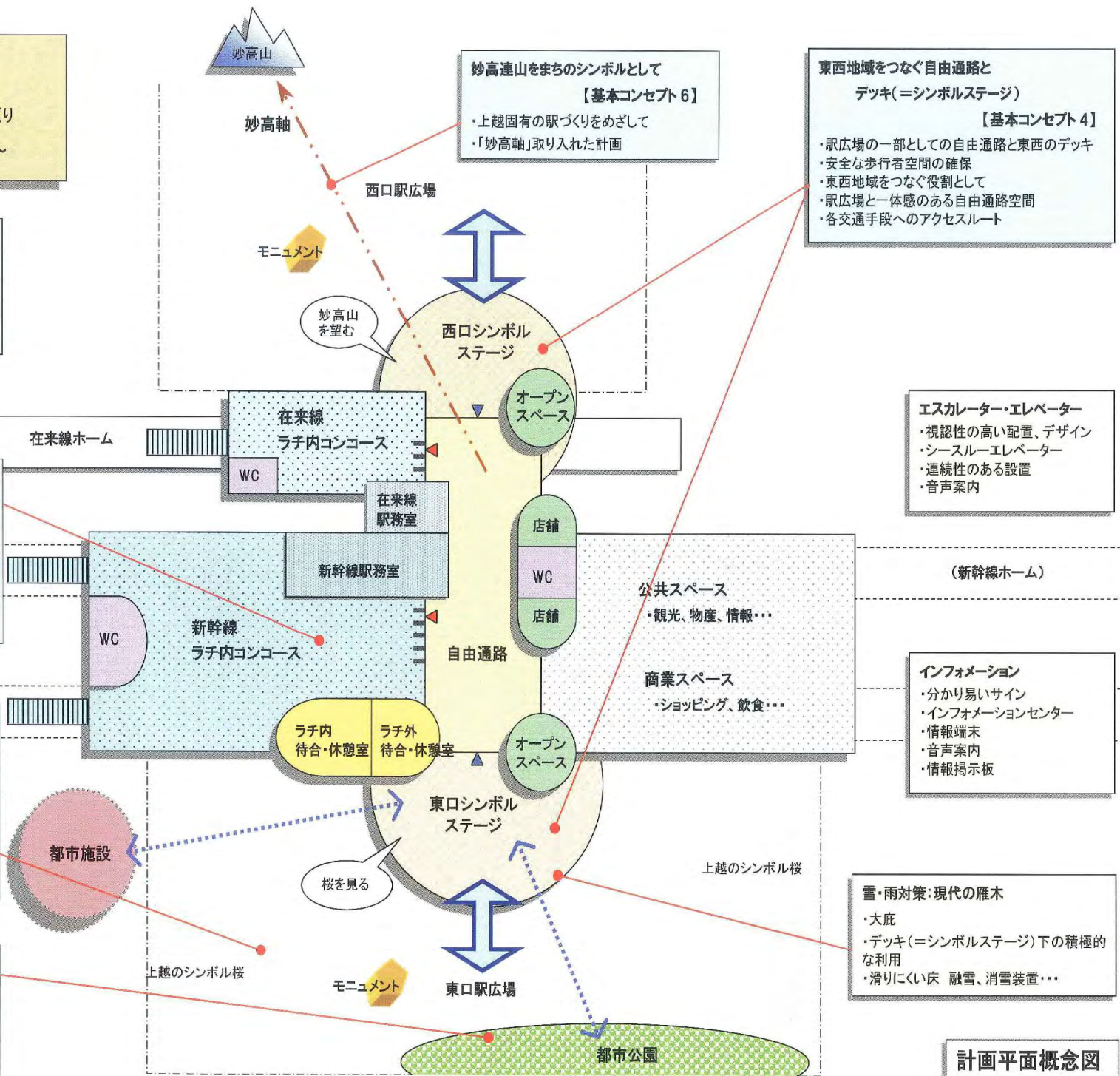
《テーマ》
新しい時代のまちの拠点として
ひとのための駅空間づくり
～地域の総合力を高める駅の創出～

のび行くまちと融合した駅空間
【基本コンセプト 1】
・駅と広場と都市が融合した、新しい関係
・都市施設としての魅力ある駅空間づくり
・駅と広場を一つの「駅空間」位置付ける

人にやさしいわかりやすい駅空間
【基本コンセプト 5】
・視認性が高く、分かりやすい平面計画
・シンプルプラン
・改札、エスカレーター、エレベーター等の主要機能が容易に認識出来る空間構成
・ユニバーサルデザインの思想を取入れた、誰にでも使いやすい計画

人と車の共存をめざして
【基本コンセプト 2】
・平面的、立体的共に人と車の利用エリアを分離し、人が安全かつ安心して歩行できるスペースを確保する
・P&R（パークアンドライド）、K&R（キスアンドライド）の積極的な導入
・交通広場から、駅空間の一部としての駅広場の提案

人が安心して過ごせる広場
【基本コンセプト 3】
・交通スペースから分離された人のための憩いの広場
緑の広場、イベントスペース、桜並木…
・隣接する公園とのつながりのある空間



計画平面概念図

東西地域をつなぐ自由通路と
デッキ(=シンボルステージ)
【基本コンセプト 4】
・駅広場の一部としての自由通路と東西のデッキ
・安全な歩行者空間の確保
・東西地域をつなぐ役割として
・駅広場と一体感のある自由通路空間
・各交通手段へのアクセスルート

エスカレーター・エレベーター
・視認性の高い配置、デザイン
・シースルーエレベーター
・連続性のある設置
・音声案内

インフォメーション
・分かりやすいサイン
・インフォメーションセンター
・情報端末
・音声案内
・情報掲示板

雪・雨対策：現代の雁木
・大庇
・デッキ(=シンボルステージ)下の積極的な利用
・滑りにくい床 融雪、消雪装置…

1) 駅前空間の使い方
駅前広場
街区公園
シンボルロード

2) 案内・誘導
利用者にどんな時間の過ごし方や、印象、便利さを感じてほしいか？
そのためには、どんな誘導（動線）が望ましいか？

3) 屋根（シェルター）
駅前空間の利用方法（案内・誘導）に加え、四季の変化、天気、地域らしさ（個性）などを考慮し、どんな屋根の形状とするか？

4) ユニバーサルデザイン
どのような駅前空間であっても、使い勝手がよい場所とするためには、どのような配慮が必要か？

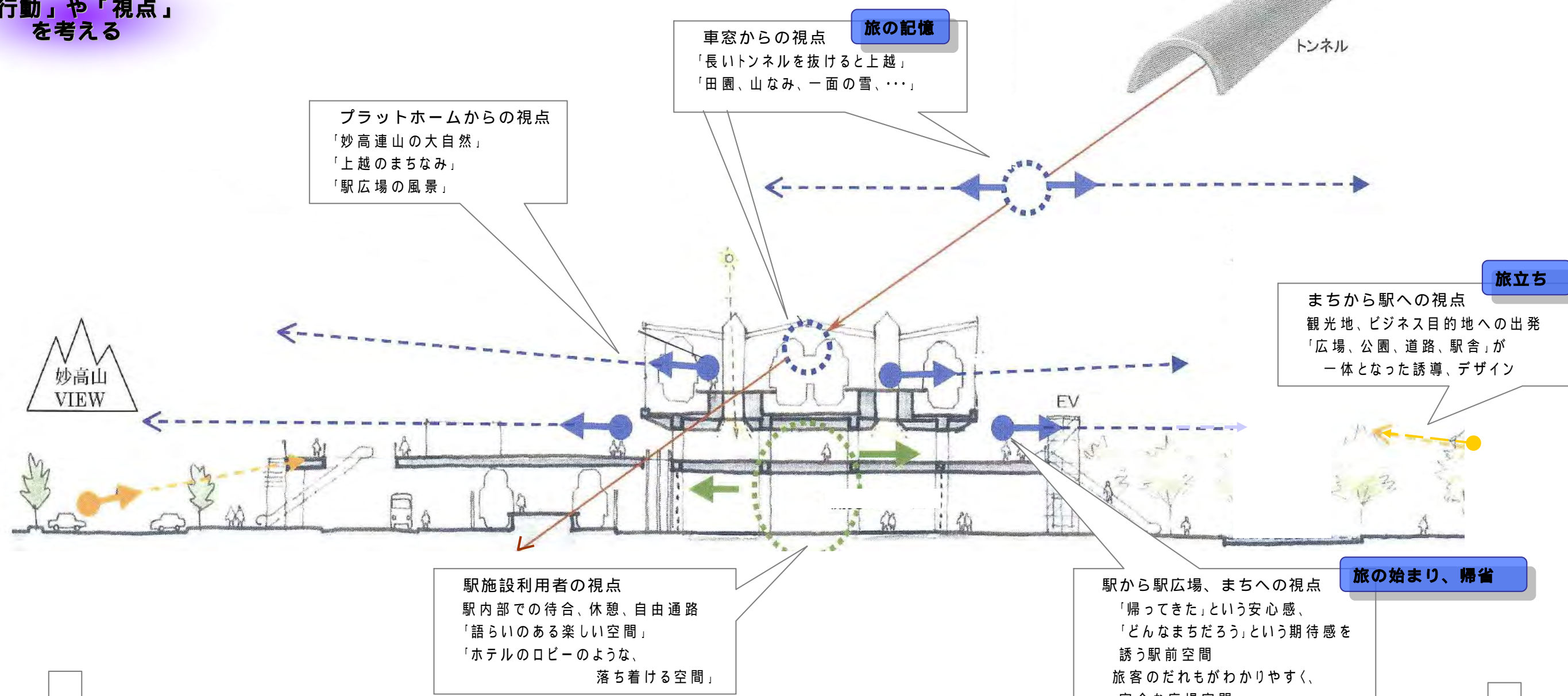
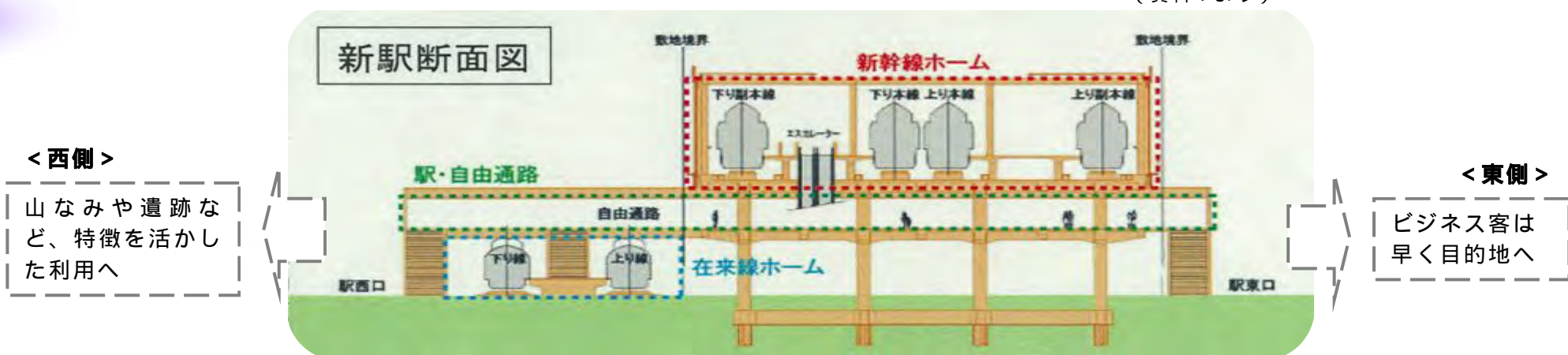
1 上記は当時、それぞれ「イメージ」として検討・提示されたものであり、決定事項ではありません。
2 東側の都市公園は平成 19 年の都市計画変更により、当該街区における整備予定はありません。

利用者の「動線」
を考える



利用者の
「行動」や「視点」
を考える

(資料1より)



西側の最大の特徴を引き出し、活かす駅前の整備へ

東側の最大の特徴を引き出し、活かす駅前の整備へ

駅前空間の
使い方の提案

西口： 2F自由通路レベルを視点場とし、空間全体を活用する使い方（タテ方向）

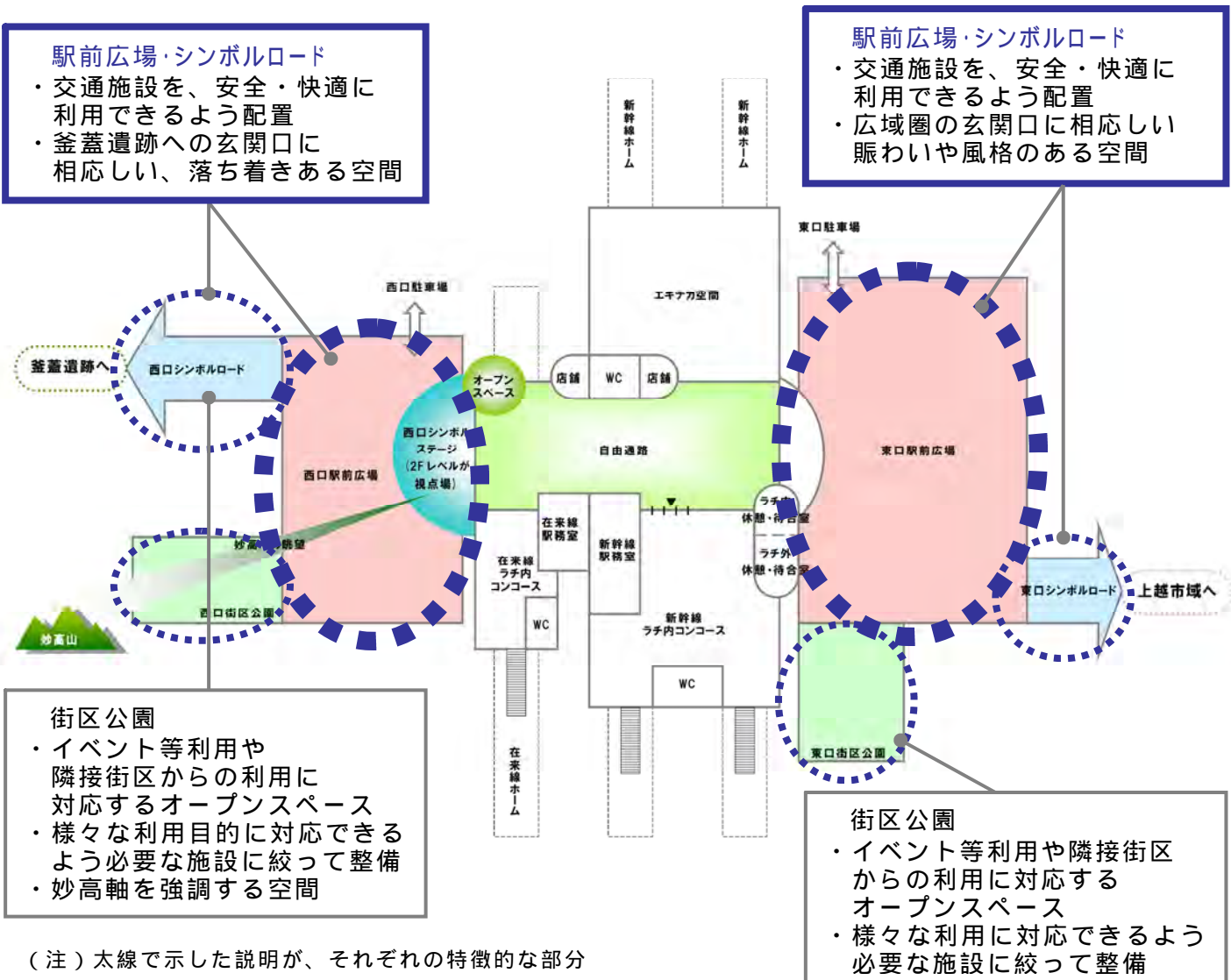
東口： 1F広場レベルの面的広がりを最大限に活かした使い方（ヨコ方向）

各機能・施設の
整備の提案

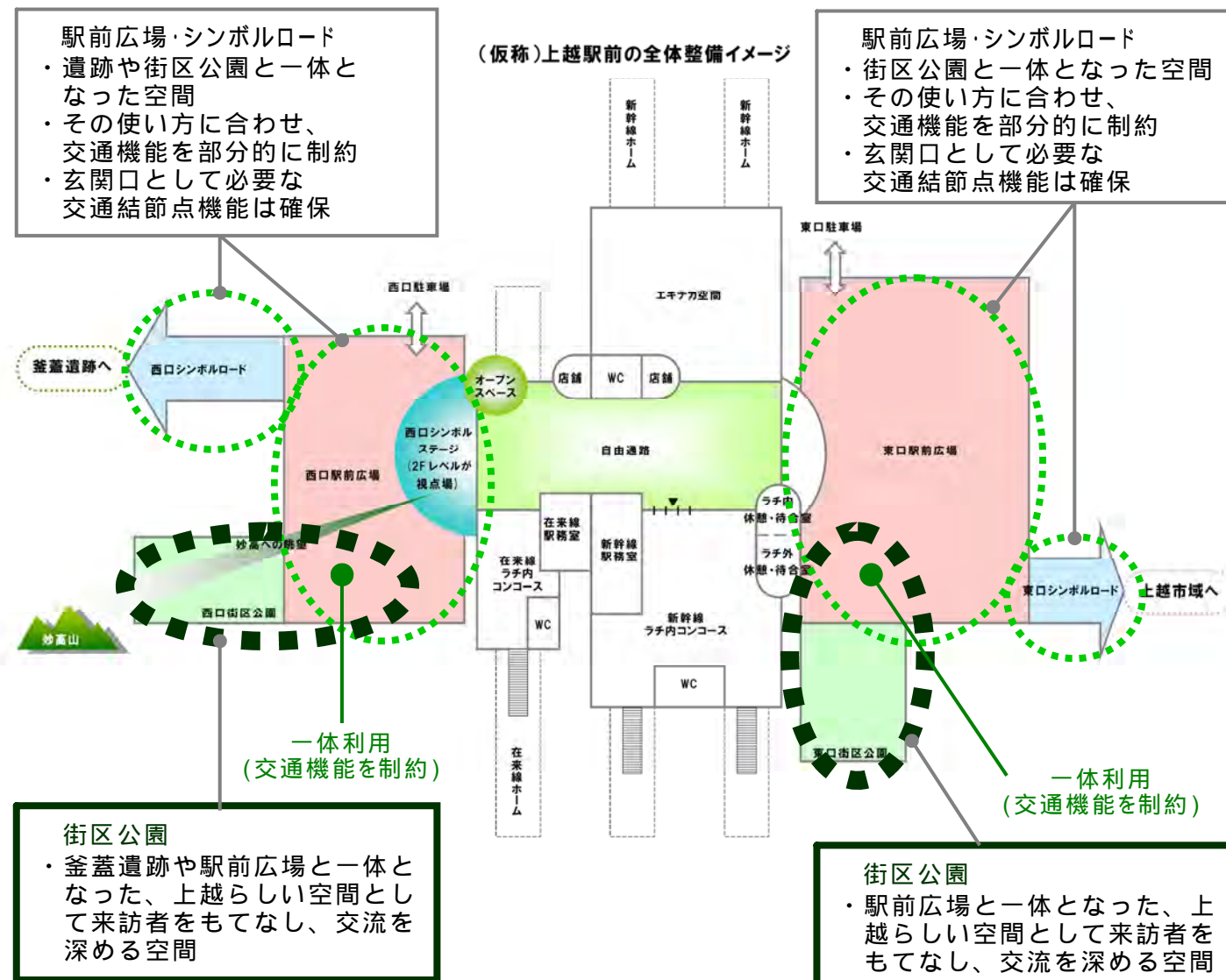
必要機能	必要施設等	西口	東口
交通結節点機能（広域圏）	釜蓋遺跡への誘導 広域圏への誘導		
交通結節点機能（生活圏）	駅～各乗降場への快適な乗り換え 地区内・駅前広場内の施設等への誘導		
もてなし機能	イベント利用や団体利用へ対応する広場空間 上越らしさを活かしたもてなし空間		
展望機能	妙高山等への眺望の確保		
交流機能	イベント利用や団体利用へ対応する広場空間 上越らしさを活かしたもてなし空間 待ち合いスペース		

特化する機能、個別施設毎の利用を重視した空間づくり、一体的利用を重視した空間づくり

広場の交通機能を重視した場合



広場の一体感を重視した場合



広場の交通機能を重視した場合

コンセプト(例)

交通結節点にふさわしい、機能的で使いやすい駅前空間

凡 例	
	歩行者動線
	バス・タクシー動線
	一般車動線(広場内)



釜蓋遺跡の整備イメージ例
(図は福岡県平塚川添遺跡)



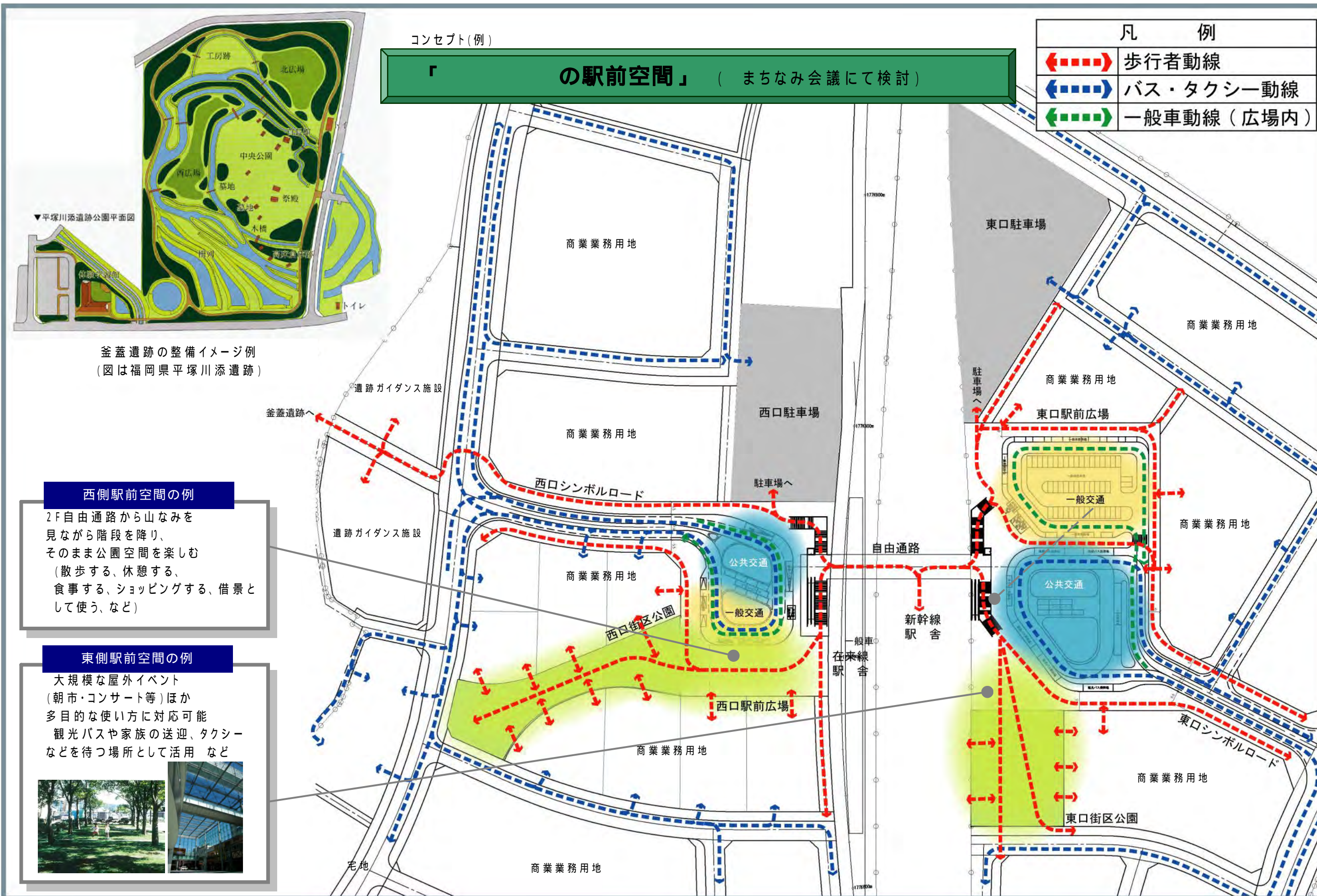
西側駅前空間の例

自由通路(駅2F)から
妙高山だけでなく、目の前にせまる
緑の山なみを間近に感じてもらう
隣接商業地と一体的な利用が可能
(散歩する、休憩する、食事する、
ショッピングする、借景として使う、
など)

東側駅前空間の例

約 2,000 m²ある広い空間のため、
大規模なイベント(朝市・コンサート等)
ほか様々な使い方に対応可能
隣接商業地と一体的な利用が可能

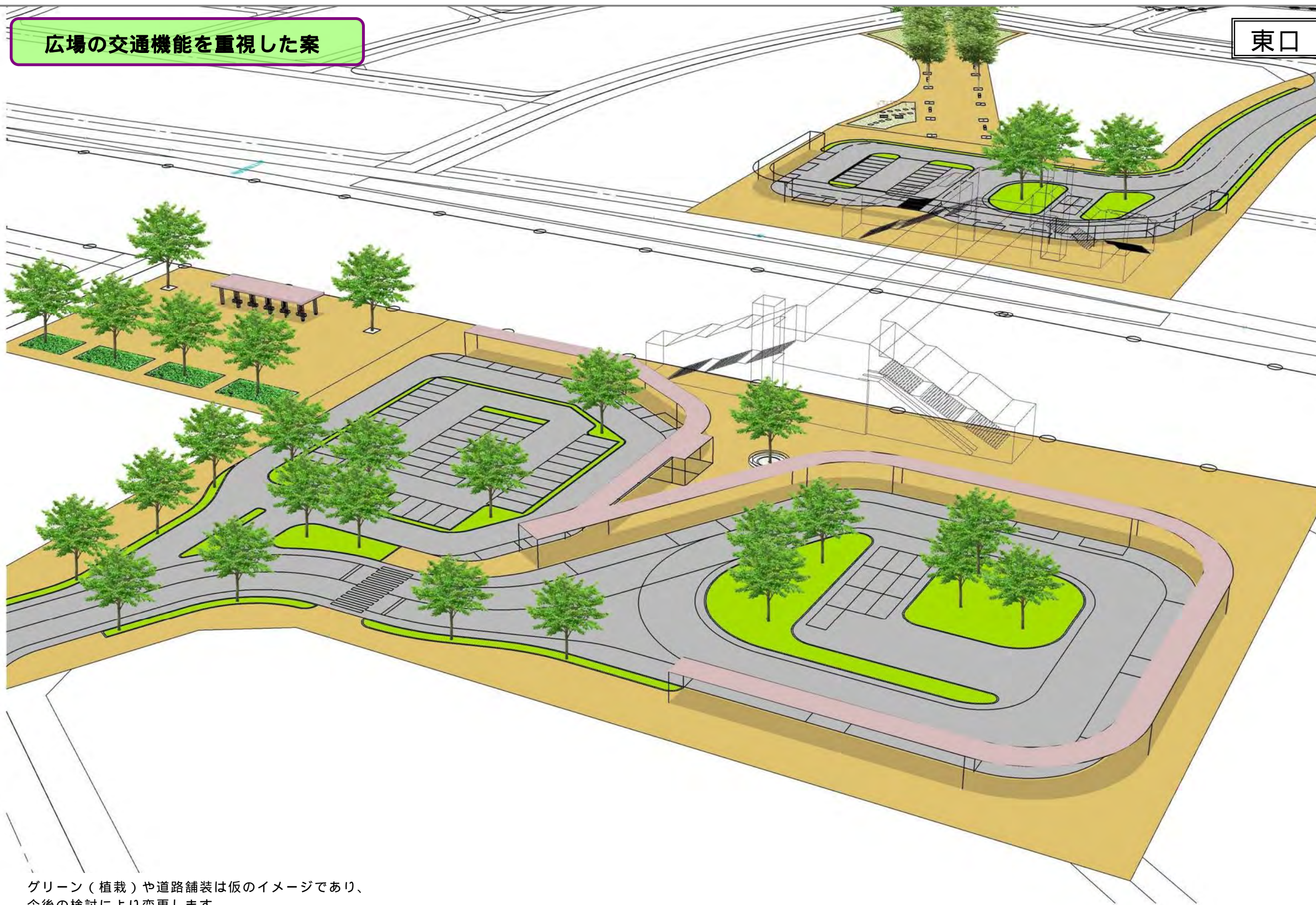
広場の一体感を重視した場合



空間的なイメージを想像していただきやすいよう、ひとつめの案について鳥瞰図をお示ししています。

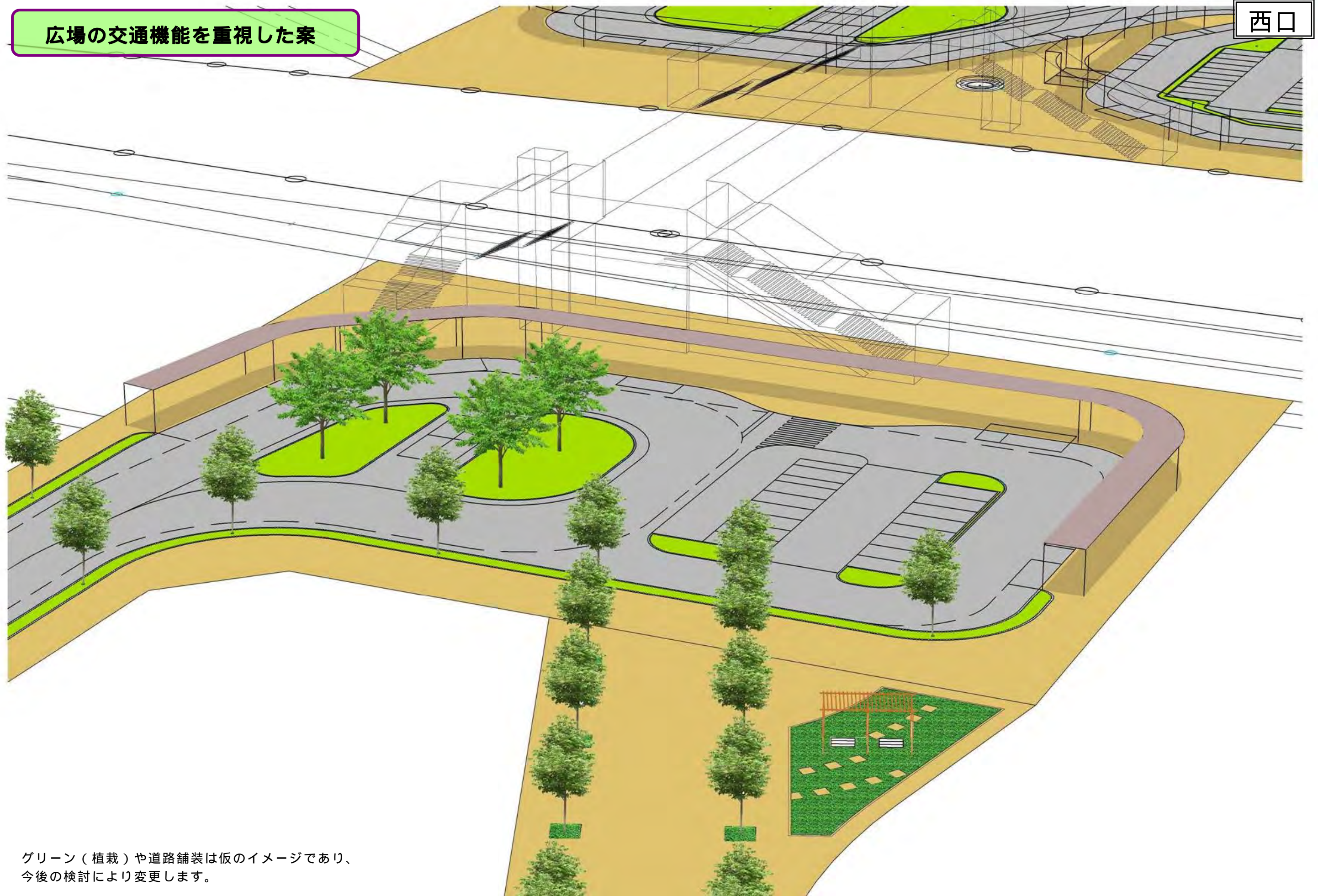
広場の交通機能を重視した案

東口



グリーン（植栽）や道路舗装は仮のイメージであり、今後の検討により変更します。

広場の交通機能を重視した案



グリーン（植栽）や道路舗装は仮のイメージであり、今後の検討により変更します。

このページ以降の資料は、検討の参考としていただくために、各種の事例を集めたものです。

“使う”駅前空間のイメージ



商業地の一部として使う
(オープンカフェやイベントなど)



憩いの場として使う
(ビジネスマン休息の場)



子ども達の遊び場
(親水公園など)として使う



イベント空間として使う
(出会い、交流の場)



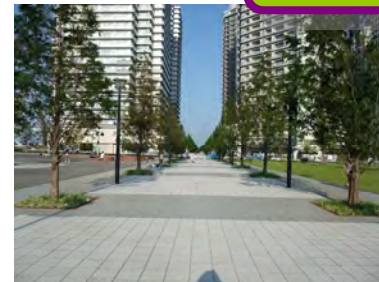
花の名所として使う



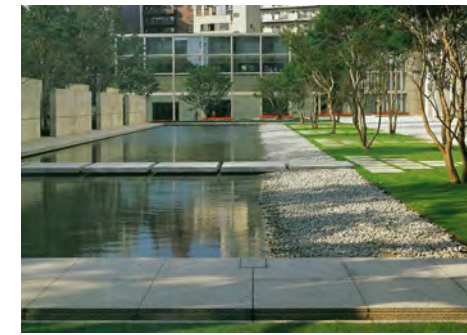
手湯・足湯として使う



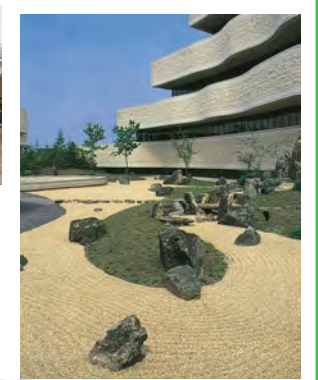
“魅せる”駅前空間のイメージ



妙高山を魅せる



木々の美しさを魅せる



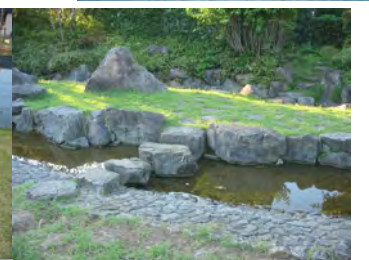
自然を魅せる

デフォルメした自然を魅せる



緑を魅せる

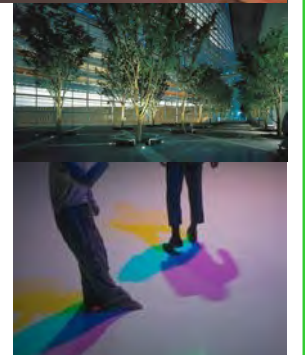
水辺を魅せる



灯りを魅せる



歴史を魅せる



駅前空間の使い方に応じた施設の整備例

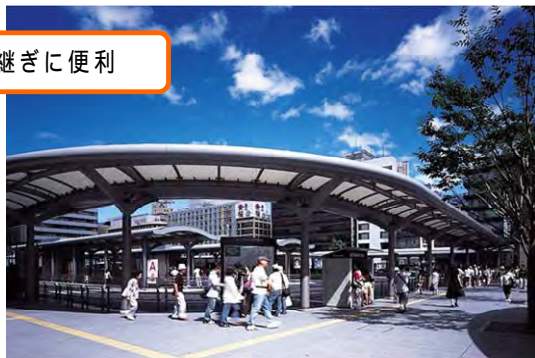
駅前広場



二次交通との乗り継ぎに便利

【福島駅】

悪天候時の移動に配慮し、駅からバス・タクシー乗り場等まで連続して設置



【京都駅】

悪天候時の移動に配慮し、駅からバス・タクシー乗り場等まで連続して設置



広場全体の開放感がある

【中百舌鳥(なかもず)駅](大阪府)

独立型のシェルターは悪天候時には不便だが、連続型に比べ開放感が高い。



【南海河内長野駅】

悪天候時の移動に配慮し、駅からバス・タクシー乗り場等まで連続して設置



シェルター下の快適性が高い

【郡山駅】

待ち時間等の快適性を考慮し、幅広のシェルターを設置



【中百舌鳥(なかもず)駅](大阪府)

悪天候時の移動に配慮し、駅からバス・タクシー乗り場等まで連続して設置



バス、タクシー等への乗降に便利

【研究学園駅】

悪天候でも濡れずに乗降できるよう配慮し、車両まで覆うシェルターを設置



【あいち小児保健医療総合センター】

悪天候でも濡れずに乗降できるよう配慮し、車両まで覆うシェルターを設置

街区公園



イベントスペースとして

【長崎駅】

街区公園全体にシェルターを架け、悪天候でもイベントの開催等が可能な空間とする。



【奈良女子大学】

街区公園全体にシェルターを架け、悪天候でもイベントの開催等が可能な空間とする。



くつろぎの場として

【鈴鹿サーキット】

来訪者の休憩場所等としての利用を想定し、街区公園の一部にシェルターを配置



【西尾スポーツ公園】

来訪者の休憩場所等としての利用を想定し、街区公園の一部にシェルターを配置



隣接する建物との一体感を演出

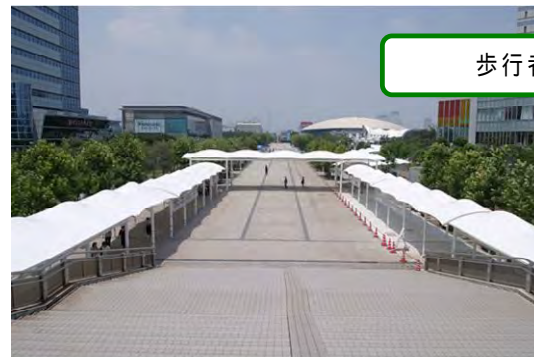
【高知大学】

隣接する建物との一体感に配慮し、建物沿いにシェルターを配置



【四日市中央小学校】

隣接する建物との一体感に配慮し、建物沿いにシェルターを配置



歩行者の動線に配慮

【ビッグサイト】

街区公園を通過する人に配慮し、動線上にシェルター配置



【ケアハウスフォレストヴィレッジ】

街区公園を通過する人に配慮し、動線上にシェルター配置